

登録コード	HM124900	開講年度	2026				
授業題目	耳鼻咽喉科頭頸部外科学論文演習					担当教員	工 稯 他
英文授業名	Thesis Seminar in Otorhinolaryngology - Head and Neck Surgery					副担当	鬼頭 良輔・吉村 豪兼・岩佐 陽一郎
単位数	2	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素 ⇄					(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野初, 2025HM医学分野初, 2024HM医学分野初, 2023HM医学分野初						
	【専攻】医学・保健学研究において基礎・応用・臨床の枠を越え、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力 ⇄					未解決の課題に対して、それを解明していく手順を考え、実践し、時に修正して、最終的に課題解決へ導く力を身につける。	
(2)詳細/Detailed information	耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域における様々な研究について文献検索し、それぞれの論文を詳しく読み、まとめたり系統分類することで、自分の診療・研究に役立つ知識を身につけ、問題を解決していく力をつける。 また、自身の論文作成やプレゼンテーション能力向上につなげる。						
(3)授業の概要/Overview of course	耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域における様々な研究について文献検索を行う。 それぞれの論文を詳しく読み、要点をまとめてプレゼンテーションを行う。 複数の関連論文を読み込み、類似系統なのか対立意見なのかを分類することで、それぞれの研究の意義を理解し、自らの研究解析へ生かしていく。						
(4)授業計画/Course plan	・側頭骨疾患（中耳・内耳疾患）、鼻副鼻腔疾患、頭頸部がん、小児上気道狭窄疾患などに関する論文を抄読会形式でまとめてプレゼンテーションを行う。						
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	まとめの内容（70％）と、プレゼンテーション（30％）の状況から総合的に評価する。						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	文献検索やまとめ、プレゼンテーション作成を行うので、パソコン作業が行え、かつデータの送受信ができるように準備する。						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	適宜、各担当教官のオフィスアワーに口頭やメールなどで連絡を取る。						
(8)授業の形式/Course format	抄読会形式で行う。 事前にまとめ方やプレゼンテーション内容について指導する。						